

第七十四回
帝國議會
貴族院

朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員會議事速記録第六號

付託議案(追加)

地方鐵道法中改正法律案

軌道法中改正法律案

昭和十四年三月九日(木曜日)午後一時四十分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會致シマス

○子爵野村益三君 本委員會デ此ノ間カラ

燃料、殊ニ液體燃料ノ件デ色々御質疑ヲ申

上ゲタノデアリマス、長官カラ此ノ前ニハ

相當具體的ニ御話モ承ッテ、我々モ稍々其ノ蒙

ヲ啓イタ譯デアリマス、企畫院總裁ニ於カ

レテハ、衆議院ノ豫算總會ニ於テ生産力擴

充ニ付テノ質疑ニ對シ、是亦或程度迄御話

シニナツタコトハ、非常ニ宜イコトト思フノ

デアリマス、ドウカ我々ニ對シテハ將來ト

テモ總テノ方面デ出來得ル限リ一ツ打明ケ

テ御話ヲ願ヒタイト云フコトヲ先ヅ以テ希

望シテ置キマス、ソコデ我々ガ承ッテ中デ喜

バシイト思フ事柄ハ、企畫院ノ中ニ科學部

ト云フモノヲ設ケラレテ、サウシテ調査研

究ノ上ニ連絡系統ヲ付ケラレルト云フコト

ヲ承ッタノデアリマス、果シテサウ云フ企ガ

日ナラズ實現スルモノカドウカ、ソレヲ承ッ

テ見タイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 科學ノ研究、殊

ニ研究ノ綜合ト云フコトノ重要性ハ申ス迄

モアリマセヌガ、事變下ノ今日我が國ト致

シマシテ、不足資源ヲ科學的ニ如何ニシテ

補填策ヲ講ズベキカト云フコトハ、時局對

策トシテ最モ緊要ナコトデアリマスノデ、

企畫院ニ於キマシテハ昨年科學審議會ト云

フモノヲ設ケマシテ、學界ノ有力ナ方々ノ

御參加ヲ得マシテ、四ツノ分科ニ分ケマシテ、

今差掛ッテ必要ナ不足資源ノ補填對策、即チ

生産方法、或ハ代用品ノ使用方法、マア其

ノ他具體的ノ幾多ノ研究ヲシテ戴キマシテ、

其ノ一部ハ既ニ實行サレ、或ハ又十四年度

ノ豫算トシテ其ノ計畫ノ實行ニ進ンデ居ル

次第デアリマス、併シナガラ企畫院ト致シ

マシテハ、現在ノ機構ヲ以テ致シマシテハ、

今申上ゲタヤウナ科學研究ノ綜合調整ト云

フヤウナコトニ遺憾ガアリマスノデ、今回

若干ノ豫算ヲ要求致シマシテ、尙現在ノ機

構モソレニ加味致シマシテ、科學部ト云フ

一ツノ獨立ノ部ヲ作ル考デ準備ヲ進メテ居

ル次第デアリマス

○子爵野村益三君 時間ガアリマセヌカラ、

具體的ニ色々指摘シテ此ノ上ノ御努力ヲ

願フ譯ニ行キマセヌガ、是ハ申ス迄モナイ

話デアリマシテ、ドウゾ一ツ成ルベク速カニ

而モ有力ナ機關ノ出現ヲ希望シマス、尙其

ノ生産力擴充、延イテ事變後ノ對策ニ付テ

ハ私ハ斯ウ思フ、第一ニ必要ナハ計畫ノ

宜シキヲ得ルコト、第二ハ費用、詰リ金、

サウシテ最モ根本的ナルモノハ所謂「サ

エンス」ノ力、ソレカラ廣イ意味ノ勞働力、

能力、此ノ四ツノモノノ宜シキヲ得テ、事

變ニ應ズル施設モ出來、事變後ニ對スル施

設モ出來得ルノデアリマス、其ノ邊ニ付キ

マシテハ尙適當ナ時機ニ於テ改メテ御尋ヲ

シテ見タイト思ヒマス、只今ハソレダケデ

宜シイ

○子爵秋元春朝君 私ハ此ノ前ノ委員會ノ

時ニ御請求申シテ置イタノデアリマスガ、

此ノ前ノ委員會ニモ、又其ノ前ノ委員會ニ

モ、色々燃料ノコトニ付テ委員カラノ御質

疑ガアリ、又燃料局長官カラシテ詳細ナ御

答辯モアツタノデアリマスガ、略々了解ハ致

シマシタガ、政府ニ於カレマシテハ生産力

擴充ノ爲ニ、物動計畫ナルモノヲ御立デニ

ナツテ、先ヅ三箇年乃至四箇年ニ是ハ完成ス

ル、斯ク斯クニ相成ルト云ラヤウナコトヲ、

大體ノコトハ承知致シテ居リマスケレドモ、

詳シイコトヲマダ伺ッテ居リマセヌノデ、此

ノ概略ニ付テ出來得ルダケ細カク一ツ御説

明ヲ願ヒタイト斯ウ思フノデアリマス、ト

申シマスノハ我々、或ハ消費節約トカ或ハ

代用品使用トカ、マア色々ナコトヲヤッテ

居リマスケレドモ、ガ扱イッ迄是程ノ我慢

ヲシテ居ッたらバ宜イノカ、又果シテ十七

年度迄此ノ我慢ヲシテ行ケバ、ソレカラ後

ハ非常ニ樂ニナル、所謂持タザル國ガ持ッ

國ニナツテ、豊富ナモノガ入ッテ來ル、ソ

レ迄ノ一時ノ忍苦デアルノダカラ、ウン

我慢シロ、銃後ノ備ヲ十分ニシ、且軍

需品ノ不足ヲシナイヤウニ、民需品ハ或

程度迄之ヲ禁止サレテ、サウシテ無論

戰爭ニ勝ツコトガ目的デアリマスケレドモ、

尙其ノ上ニモ東洋永遠ノ經濟力、平和ニ付

テノ寄與ト云フヤウナ風ニ御諭シヲ戴イテ

居リマスルノニ、之ニ副フヤウニシテ居リ

マスケレドモ、色々御話ヲ聽イテ見マス

トドウモハッキリシタ所ガチヨット分リマセヌ

ノデ、現ニ速記録等ヲ見マシテモ、油ノコ

トニ付テ、十七年度ニナツたらバ果シテドウ

ナルノカト云フコトヲ申上ゲテ見ルト、十七年ニナツテモ今同様デ、外國依存ハ止メタルニ行カスト云フヤウナ話ヲ承ルノデ、甚ダ宙ニ迷ッテシマヒマシテ、消費節約ガ本當ニ何處迄行クカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、ソシナコトヲシナクテモ、物動計畫ヲ爲サツテモ、今ト同ジコトナラ何モ苦ンズコンナコトヲシナイデモ宜イト云フ風ニ見エルノデスガ、此ノ點ノ疑惑カラシテ、企畫院總裁ニ御忙シイ所ヲ煩ハシテ恐縮デアリマスガ、能ク、平易ニ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 只今秋元子爵ノ御話ノ點ハ誠ニ御尤モデアリマシテ、現在時局對策トシテ政府ガ強度ノ經濟統制ヲ行ッテ居リマス所以ノモノモ、主トシテ需要物資ヲ軍需ノ目的ニ使フ必要ガアルト云フコトカラ來ルノデアリマス、サウシテ軍需ニ對スル國內ノ生産力ガマダ十分デナイ、又外國カラ不足物資ヲ輸入スル場合ニ於キマシテモ、軍事上ノ目的ニ優先ノ取扱ヲ致ス必要ガアリマスル爲ニ、國內民需ニ充當スベキモノガ自ラ削減サレルト云フ結果ニ基クノデアリマス、併シナガラ我が國家ノ將來ヲ考ヘマスルト云フト、軍事上ノ見地ノミカラ考ヘマシテモ、今日ノヤウニ重要資源ヲ強イ程度ニ於テ外國ニ依存シテ居ルト

云フコトハ、國防ノ安固ヲ期スル所以デナイコトハ申ス迄モナイノデアリマス、尙廣ク産業經濟ノ見地カラ考ヘテ見マシテモ、今迄ノ我が國ノ行キ方デアツテハ、今日ノ國際情勢ニ副ハザルモノガアル、或程度ノ原料ノ自給、基礎産業ノ獨立ト云フコトヲドウシテモ實現スルコトガ、今日ノ國際情勢カラ必要ナノデアリマス、要スルニ今日ノ經濟統制ハ、需要物資ノ不足カラ來テ居リマスルノデ、生産力擴充計畫ニ於キマシテハ是等ノ需要物資ヲ生産スベキ基礎産業ノ日滿支ヲ通ジテノ獨立、是等ノ資源ノ自給自足ト云フコトヲ目標トシテ進ンデ居ル次第デアリマス、此ノ計畫ガ豫定ノ通り進行致シマスと云フト、單リ軍事上ノ目的ヲ之ニ依ッテ達成スルノミナラズ、民間ノ需要ニモ自然其ノ供給ガ行クノデアリマシテ、要スルニ將來ニ於ケル軍需民需ノ見透シヲ付ケテ、之ヲ充足スルコトヲ主眼トシタ計畫デアアルノデアリマス、昨日モ衆議院ニ於テ説明致シマシタ如ク、大多數ノ品物ニ付テハ十六年度末ニ於テ自給自足ノ目標ニ到達スル計畫デアリマス、此ノ時ニ至リマスレバ、勿論品物ニ依ッテ程度ハ違ヒマセウガ、今日ノ如キ強度ノ統制ヲ爲サズシテ、軍需民需ノ需要ヲ充足スルコトガ出來ルト大體

考ヘテ居リマス、勿論正確ニ言ヒマスレバ、其ノ時ニ於ケル軍需ノ需要ト云フコトガ、ドウ云フ形ヲ取ツテ來ルカ、今日ノ、計畫ヲ立案致シマシタ當時ニ豫想致シマシタ程度ノ狀況デアアルカト云フコトニ、勿論掛カッテ居ルノデアリマシテ、必ズ斯ウナルト云フ風ニ、將來ノ需要ヲ明確ニ申ス譯ニ參リマセヌガ、大體論トシテハ今日ノ如キ強度ノ民需統制ハシナクテモ濟ムト、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス、先程御話ノ石油及其ノ代用品ノ問題デアリマスガ、是ハ御存ジノ如ク、今日ニ於ケル我が國ノ國產品ノ自給率ト云フモノガ非常ニ低ク、殆ド大部分ハ海外ニ依存シテ居ルト云フヤウナ狀況デアアルノデアリマシテ、之ヲ一舉ニ外ノ産業ノ如ク、自給ノ域ニ持ッテ行クト云フコトハ、是ハ今回計畫シテアル如キ短期ノ期間ニ於キマシテハ勿論是ハ不可能デアリマス、況ヤ人造石油ノ問題ニ致シマシテモ、我が國ニ於テハ最近ニ緒ニ就イタバカリノ工業デアリマシテ、技術的其ノ他幾多ノ困難モアリ、又之ニ付キマシテハ巨額ノ固定資本及之ニ必要ナ物資ヲ要スル譯デアリマシテ、幾多ノ事情カラ、二三年ノ計畫ト云フコトデアツテハ、自給自足ノ域ニ達スルコトガ出來ナイノハ是ハ已ムヲ得ザル所デアリマシテ、勿論今回ノ計畫

ハ數年後ノ需要ヲ見越シタマア第一期ノ計畫ト見ルベキモノデアリマシテ、之ニ引續キマシテ更ニ第二期計畫ト云フヤウナモノモ豫期シテ居ル次第デアリマス、殊ニ油ノ如キ問題ハ引續キ相當大キナ規模ニ於テ増產計畫ヲ重ネテ行カナケレバナラスコトト考ヘテ居リマス、ソレデ只今若シ是ダケ努力シテモ、油ノ如キ自給自足ガ出來ナイト云フコトデアツテハ、張合ガナイデハナイカリマスガ、其ノ點ハ私共ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今回政府ノ計畫致シテ居リマスル生産力擴充ハ、大キナ類別ニ致シテ十五品目、更ニ細別致シマスレバ相當數ノ品物ニ互リマスガ、是ハ大體ニ於テ輸入ニ關係アル物資ガ多イノデアリマス、今日ニ於テ不足ノ分ヲ輸入シテ居ルト云フコトニ關係ガアル物資ガ多イノデアリマシテ、從ヒマシテ今日ノ輸入額ノ中多クヲ占メテ居ル是等ノ物資ノ生産ガ急激ニ増加致シマスレバ、ソレダケ我が國ノ必要ナル輸入、ドウシテモ輸入シナクチャナラヌ必要額ト云フモノガ減ツテ來ルノデアリマス、今日何故強度ノ消費統制ヲヤルカト云フ、其ノ原因ノ一ツトシテ輸入力ニ限りガアリマス、其ノ輸入力ニ限りガアルカラ、充當ス

ハ數年後ノ需要ヲ見越シタマア第一期ノ計畫ト見ルベキモノデアリマシテ、之ニ引續キマシテ更ニ第二期計畫ト云フヤウナモノモ豫期シテ居ル次第デアリマス、殊ニ油ノ如キ問題ハ引續キ相當大キナ規模ニ於テ増產計畫ヲ重ネテ行カナケレバナラスコトト考ヘテ居リマス、ソレデ只今若シ是ダケ努力シテモ、油ノ如キ自給自足ガ出來ナイト云フコトデアツテハ、張合ガナイデハナイカリマスガ、其ノ點ハ私共ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、今回政府ノ計畫致シテ居リマスル生産力擴充ハ、大キナ類別ニ致シテ十五品目、更ニ細別致シマスレバ相當數ノ品物ニ互リマスガ、是ハ大體ニ於テ輸入ニ關係アル物資ガ多イノデアリマス、今日ニ於テ不足ノ分ヲ輸入シテ居ルト云フコトニ關係ガアル物資ガ多イノデアリマシテ、從ヒマシテ今日ノ輸入額ノ中多クヲ占メテ居ル是等ノ物資ノ生産ガ急激ニ増加致シマスレバ、ソレダケ我が國ノ必要ナル輸入、ドウシテモ輸入シナクチャナラヌ必要額ト云フモノガ減ツテ來ルノデアリマス、今日何故強度ノ消費統制ヲヤルカト云フ、其ノ原因ノ一ツトシテ輸入力ニ限りガアリマス、其ノ輸入力ニ限りガアルカラ、充當ス

ル品物ガ自ラ制限サレテ外ノ物ガ買ヘナイ、
斯ウ云フ結果ニナツテ居ルノデアリマス
カ、今回ノ綜合的生産力擴充計畫ニ依リマ
シテ、今迄輸入シタ物ガ、今度ハ國內ニ出
來ルト云フコトニナリマスレバ、假ニ輸入
力ハ今迄通り、輸入力其ノモノハ殖エナイ
ト致シマシテモ、今度ハ不足ノ分、例ヘバ
油ナラ油ヲ買ッテ來ル力ト云フモノハ非常
ニ殖エテ來ル、或ハ場合ニ依リマシテハ、
サウ云フヤウナ重要ナ資源デナイ國內ノ一
般ノ消費ニ充テルベキ品物ヲ、買ッテ來ル餘
カスラモ出テ來ルト云フ關係ニ於キマシテ、
全體ノ計畫ガ進ミマスレバ、ソレヲ自體自
給ノ目標ニ達シナイ油ニ致シマシテモ、今
迄ヨリモ餘計買ッテ來ル力ガ出テ來ル、斯ウ
云フ關係ニナルト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、何レニ致シマシテモ只今ニ於キマシテ
ハ、是等ノ計畫ヲ實行スル爲ニ、先程野村
子爵ノ仰セノ如ク幾多ノ物資モ要ルノデア
リマシテ、ソレガ本年來年ノ物資動員計畫
ニハ寧ロ物ノ需要トシテ、負擔トシテ計上
サレル關係上、物動計畫ノ編成上困難ヲ感
ズル、又一般國民ニモ更ニ一段ノ御辛抱ヲ
願フコトニナルノデアリマスガ、此ノ計畫
ガ豫定ノ通り行キマシテ、毎年卯ヲ産ムヤ
ウニナツテ來マスレバ、今度ハ總テ新シイ物

ヲ使ハズニ、物ガ取レルト云フ方面ノミガ
出テ來マスノデ、今日トハ全ク違ッタ狀況ニ
ナル次第デアリマス

○子爵秋元春朝君 私ハ尙進シデ細カイコ
トニ對シテ質問モ致シタイと思ヒマスガ、
速記ヲ御止メニナルカ、又秘密會ニデモシ
テ戴カナケレバ、思切ッテ質問ガ出來ナイヤ
ウナ氣ガシマスガドウカ……

○委員長(伯爵堀田正恒君) 秘密會ニシタ
イト思ヒマス、議員、國務大臣、政府委員
及議事ニ關係アル者以外ノ人ノ退場ヲ求メ
マス

午後二時三分秘密會ニ移ル

午後二時五十四分秘密會ヲ終ル

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メ
テ、鐵道大臣カラ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(前田米藏君) 本案提出ノ理由
ニ付キマシテハ、本會議ノ際一應御説明申
上ゲテ置キマシタガ、此ノ際今少シク御説
明申上ゲタイト存ジマス、現在地方鐵道法
及軌道法ハ商法ノ例外ト致シマシテ、地方
鐵道會社及軌道會社ニ對シ、株金全額拂込
前ニ於キマシテモ、線路ノ延長又ハ改良ノ
費用ニ充ツル爲認可ヲ受ケテ其ノ資本ヲ増
加シ得ルコトトシ、又線路延長ノ費用ニ充
ツル爲其ノ資本ヲ増加致シマス際ニハ、同

ジク認可ヲ受ケテ一定ノ期間利益配當ニ關
シ普通株式ニ劣ル株式、所謂後配株ナルモ
ノヲ發行シ得ルコトトナツテ居ルノデアリマ
スガ、改正商法ニ於キマシテハ、一般ノ株
式會社ニ對シマシテモ、株金全額拂込前ノ
資本増加及後配株其ノ他各種ノ株式ヲ發行ヲ
廣ク自由ニ認メルコトトナリマシタノデ、
以上ノ如キ特別規定ヲ削除致シマシテ、地
方鐵道會社又ハ軌道會社ニ於キマシテモ、
一般ノ株式會社ト同様、商法ノ規定ニ依ラ
シムルコトト致シタイノデゴザイマス、更
ニ地方鐵道又ハ軌道ノ買収又ハ補償ノ際交
付致シマス買収代價又ハ補償金ハ五十五年
内ニ償還スベキ五分利附國債證券ヲ以テ交
付スルコトヲ原則ト致シ、昭和九年以降暫
定的取扱トシマシテ、時價ニ依リ之ヲ五分
未滿ノ利附國債證券ニ換算シテ、交付シ得
ルコトトナツテ居ルノデアリマスガ、現在ニ
於キマシテハ換算ノ基準タルベキ此ノ種ノ
五分利附國債證券ガ殆ド發行サレテ居リマ
セス爲、其ノ適正ナル時價ヲ定メ難イ狀態
トナリ、買収又ハ補償ノ實施上支障ヲ生ズ
ルニ至リマシタノデ、此ノ際只今申上ゲマ
シタヤウナ換算方法ヲ廢止致シマスト共ニ、
買収代價又ハ補償金トシテ交付スベキ國債
證券ノ種類ヲ特定ノモノニ限定セズ、金利

ノ狀態ニ應ジテ其ノ都度發行セラレルモノ
ヲ以テ交付スルヤウナ建前ニ改メタイト存
ズルノデゴザイマス、尙其ノ他ノ規定ニ關
シマシテモ二三修正ヲ適當トスルモノガゴ
ザイマスノデ、是等ニ付キマシテモ此ノ機
會ニ於テ、併セテ改正ヲ行ヒタイト存ジマ
ス、大體以上申上ゲマシタ理由ニ依リマシ
テ、本案ヲ提出致シタ次第デゴザイマスガ、
尙詳細ハ更ニ御質問ニ依リマシテ御説明申
上ゲタイト存ジマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御質問ガゴザ
イマシタラ、御願ヒシマス

○男爵久保田敬一君 私ハ交通ノ監督行政
ノ統一ノコトニ付テ伺ヒタイと思フノデア
リマス、只今鐵道省デハ交通統制ノコトニ
非常ニ御熱心ニナツテオイデニナリマシテ、
交通行政ノ爲ニ特ニ委員會ヲ御作りニナツテ
色々ト御計畫中デアルコトヲ承知シテ居ル
ノデアリマスガ、交通統制固ヨリ結構ナコ
トデアッテ、之ガ爲ニ公衆ガ利便ヲ受ケ、又
鐵道會社ノ經營等ニ付テモ非常ニ良クナル
コトハ無論デアリマスガ、交通行政ニ最モ
先立ツモノハ、交通機關ノ監督行政ノ統一
ガ一番肝要デハナイカト思ハレルノデアリ
マス、先ニ本會議デ大藏男爵ガ御質問ニナッ
タ中ニモ、政府ハ民間ニ對シテハナカ

難イコトヲ求メルガ、自分自身ニ對シテハ非常ニ寛デアル、他ニ求メルコトガ嚴デ、自分ニ求メルコトガ極メテ寛デアルト云フコトヲ申サレタノデアリマスガ、此ノ交通行政ニ付キマシテモ、ドウモサウ云フ風ナ感ジガ非常ニ多イノデアリマス、交通統制等ニ付テハ、民間會社其ノ他ニ付テモ隨分ヒドイ犠牲ヲ拂ハシテモ、交通統制ヲヤラウデヤナイカト云フ肚ヲ御極メニナッテ居ルヤウデアリマスガ、民間會社ノ色々ナ利便デアルトカ、又殊ニ交通統制ヲヤル其ノ本ト云フモノハ、矢張り交通行政ニアルノデヤナイカト思フ、其ノ交通行政ヲ統一スルト云フコトハ、政府ノ中デ以テ出來ルコトデアアルニ拘ラズ、此ノ事ニ付テハ殆ド一指ヲ染メラレテ居ナイト云フヤウナ有様デアアルノハ、非常ニ遺憾デアルト思フノデアリマス、最モ卑近ナ例ヲ申シマス、鐵道ノ中ニハ今回御出シニナッテ居リマスガ、地方鐵道法ト軌道法トアリマス、同ジ運輸機關ノ鐵道ガ地方鐵道ト軌道トニ分レテ居リマス、元々此ノ地方鐵道ト軌道ト云フモノハ出發點ガ違ッテ居リマシテ、私ガ此處デ申上ゲル迄モアリマセヌケレドモ、軌道法ト云フモノハ元ノ馬車鐵道デアルトカ、ソレカラ色々ナ小サイ鐵道ヲ監督スル爲ニ、

道路上ニ敷イタ所ノ鐵道ヲ監督スル爲ニ起ッタ法規デアアル、地方鐵道ハ又之ニ反シテ鐵道國有ニナリマス前ニ、日本鐵道デアアルトカ、山陽鐵道、關西鐵道デアアルトカ、非常ニ大キナ私設鐵道ガアリマス、之ヲ監督スル爲ニ出來タ法規デアリマシテ、其ノ起源ハ全然マルデ、月ト龜ト云フヤウナ違ヒノアルモノヲ監督スル爲ニ出來タ法規デアリマスケレドモ、是ガ、今日ニ於テハ殆ド其ノドレガ軌道デアアルカ、ドレガ私設鐵道カ、地方鐵道カト云フ區別ガ付カナイ、殆ド滑稽ト思ヒマスヤウナ區別ノ付カナイノガ、私ノ考ヘ違ヒカモ知レマセヌケレドモ、東京ノ地下鐵道ハ地方鐵道デアリマス、ソレカラ大阪ノ地下鐵道ハ同ジ地下鐵道デアアルニ拘ラズ是ハ軌道デアルト思フノデアリマス、ソレカラ東京附近ニ於キマシテモ、或ハ非常ニ大キナ鐵道デ以テ軌道デアアルノモアリマス、ソレカラ又殊ニ京阪地方ニ於テハ大阪鐵道デアアルトカ、阪和鐵道デアアルトカ云フモノハ地方鐵道デアッテ、是等ト何等違ヒノナイ所ノ阪急鐵道、阪神電鐵ト云フモノハ軌道デアアル、是非非常ニ今考ヘマスト奇異ナ感ガ起ルノデアリマス、是ニハ或ハ三呎六吋「ゲージ」ノモノハ地方鐵道トシ、三呎六吋以外ノモノハ軌道トス

ルヤウナ點モアッタノデアリマス、併シ今日ニ於テハ或ハ地方鐵道ニ於テ三呎六吋以外ノモノモアルカト思ヒマスシ、軌道ニ於テモ三呎六吋ノモノモアルノデアリマス、デ此ノ道路上ニアル鐵道ヲ監督スル爲ニ、此ノ軌道法ト云フモノガアリマシテ、是ハ主管大臣ガ鐵道大臣ト内務大臣ト兩方ノ主管ニナッテ居ルノデアリマス、地方鐵道ハ鐵道大臣ノ主管ニナッテ居ルノデアリマス、無論東京市ノ市電デアアルトカ、大阪ノ市電デアアルトカ、道路ノ上ニアル所ノ軌道ヲ之ヲ道路行政ト一緒ニ、軌道法ニ依ッテ監督サレルノハ不都合ナイト思フノデアリマスケレドモ、今日ニ於テハ殆ド道路ノ上ヲ一箇所モ通ッテ居ナイヤウナモノガ、軌道トシテ矢張り存シテ居ル、今日ニ於テハ地方鐵道ト軌道ト云フモノヲ分ケル必要ハ全然ナイト云フヤウニ思ハレテ居ルノデアリマス、前カラシテ此ノ地方鐵道ト軌道ト云フモノヲ一緒ニシテシマッタ宜イデヤナイカト云フ話モアリマシタ、是ハナカ／＼實現サレナイ、今回地方鐵道法ノ改正及軌道法ノ改正ヲ議會ニ提出サレマシタノデ、或ハ此ノ地方鐵道ト軌道ト云フモノヲ、根本的ニ一緒ニスルト云フヤウナ御改正モアルカト期待シテ居ッタノデアリマスガ、ソレガ矢張り

リゴザイマセヌ、是ハ私ノ想像デアリマスケレドモ、軌道ハ矢張り内務大臣ノ所管ニナッテ居ルノデアリマス、内務省トシマシテモ、折角自分ノ所管デアアルモノヲ鐵道省ニ讓ッテシマフノハ惜シイト云フヤウナ風ノ考カラシテ、ナカ／＼軌道ト地方鐵道ト一緒ニスルトガムツカシイノデヤナイカト云フ風ニ想像サレルノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ内閣ガ總テ思ヒ切ッテ施設ヲシヨウト云フノニ、民間ノミニ責メルコトガ多クテ、自分ノ内部ニ於テ出來ル改革ヲ一指モ著ケラレナイト云フコトハ、甚ダ奇異ノ感ヲスルノデアリマス、私ハ此ノ地方鐵道ト軌道ノ如キモノヲ一緒ニスルト云フヤウナコトハ、非常ニ根本的ナ改正トハ思ヒマスケレドモ、是ハ實ニ實際上何等差異ナイモノヲ一緒ニスルノハ何デモナイコトデアッテ、殆ド一舉手一投足ノ勞デアルト云フヤウニ思フノデアアル、ソレサヘ出來ナイノハ非常ニ心許ナク思ハレルヤウナ次第デゴザイマスガ、サウ云フ點ニ對シマシテ鐵道大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居リマスカ、チヨット伺ヒタイ

○國務大臣(前田米藏君) 御尤モノ御質問デ、御承知ノ通りニナカ／＼役所ト役所ノ間ガムツカシイノハ今日ノ現狀デゴザイマ

スガ、是ハ何トカセニヤナラスト云フコトハ固ヨリ誰シモ考ヘテ居ルコトデアリマスルシ、此ノ頃ノ政府ノ爲スベキ事業、或ハ立法ト云フヤウナモノヲ考ヘテ見マシテモ、ソレハ矢張り各方面ニ影響スルコトガ多イノデアリマシテ、多方面ニ關係ナクシテ、自分ノ方ノ關係ダケデヤルト云フコトハ、ナカナカ少クナツテ來マシテ、他ノ方ト關係スベキ事項ガ、段々複雑ニナル世ノ中ニ連レテムツカシクナツテ來ル、然ルニソレヲサウナツテ行クカラト云ツテ、ソレヲ皆各省ノ共

管ニシテヤツテ行クト云フコトハドウ云フモノデアラウカ、私ハ此ノ方ニモ關係ガアル、此ノ方ニモ關係ガアルカラト云ツテ、共管ニシテヤツテ行クト云フコトハ、其ノ利害ヲ穿鑿スルト利少ナクテ害ガ多イト思ヒマ

スガ、是ハ何トカセニヤナラスト云フコトハ固ヨリ誰シモ考ヘテ居ルコトデアリマスルシ、此ノ頃ノ政府ノ爲スベキ事業、或ハ立法ト云フヤウナモノヲ考ヘテ見マシテモ、ソレハ矢張り各方面ニ影響スルコトガ多イノデアリマシテ、多方面ニ關係ナクシテ、自分ノ方ノ關係ダケデヤルト云フコトハ、ナカナカ少クナツテ來マシテ、他ノ方ト關係スベキ事項ガ、段々複雑ニナル世ノ中ニ連レテムツカシクナツテ來ル、然ルニソレヲサウナツテ行クカラト云ツテ、ソレヲ皆各省ノ共

管ニシテヤツテ行クト云フコトハドウ云フモノデアラウカ、私ハ此ノ方ニモ關係ガアル、此ノ方ニモ關係ガアルカラト云ツテ、共管ニシテヤツテ行クト云フコトハ、其ノ利害ヲ穿鑿スルト利少ナクテ害ガ多イト思ヒマ

ノコトト思ハレマスシ、ソレ等ノコトニ付テモ只今ノ有力ナ鐵道大臣ガオイデニナル時ニ、サウ云フ風ナ根本的ナ改正ヲナサルヤウナ氣運ヲ御作リニナルコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、尙此ノ交通行政ノ統一ト云フコトニ付キマシテハ、結局交通省ト云フヤウナモノガ出來ルト云フ風ナ途ニ進ムノガ、一番宜イデハナイカト思フ

ノコトト思ハレマスシ、ソレ等ノコトニ付テモ只今ノ有力ナ鐵道大臣ガオイデニナル時ニ、サウ云フ風ナ根本的ナ改正ヲナサルヤウナ氣運ヲ御作リニナルコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、尙此ノ交通行政ノ統一ト云フコトニ付キマシテハ、結局交通省ト云フヤウナモノガ出來ルト云フ風ナ途ニ進ムノガ、一番宜イデハナイカト思フ

人ガ本當ノ交通行政ヲヤツテ居ルノデアツテ、外ノ官廳ト鈞合ヒマス所ノ行政官ト云フモノハ、鐵道省ノ中ニハ實際ハ大臣、次官ヲ除イテハ、此ノ監督局ノ四五百人シカ居ラナイヤウナ次第デアリマス、ソレデ結局交通省ト云フモノデモ出來テ、行政監督ノ統一デモヤラレルヤウニナリマシタナラバ、此ノ監督局ナル交通行政ノ監督機關ガ

人ガ本當ノ交通行政ヲヤツテ居ルノデアツテ、外ノ官廳ト鈞合ヒマス所ノ行政官ト云フモノハ、鐵道省ノ中ニハ實際ハ大臣、次官ヲ除イテハ、此ノ監督局ノ四五百人シカ居ラナイヤウナ次第デアリマス、ソレデ結局交通省ト云フモノデモ出來テ、行政監督ノ統一デモヤラレルヤウニナリマシタナラバ、此ノ監督局ナル交通行政ノ監督機關ガ

○男爵久保田敬一君 只今御話ノ各省ノ間

ニ色々障礙ノアルコトハ私モ承知致シテ居ルノデアリマスケレドモ、政府トシテ御考ニナレバ各省デアリマスケレドモ、日本ノ全體カラ見マスレバ政府ハ一體デア

ノコトト思ハレマスシ、ソレ等ノコトニ付

ノコトト思ハレマスシ、ソレ等ノコトニ付テモ只今ノ有力ナ鐵道大臣ガオイデニナル時ニ、サウ云フ風ナ根本的ナ改正ヲナサルヤウナ氣運ヲ御作リニナルコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、尙此ノ交通行政ノ統一ト云フコトニ付キマシテハ、結局交通省ト云フヤウナモノガ出來ルト云フ風ナ途ニ進ムノガ、一番宜イデハナイカト思フ

人ガ本當ノ交通行政ヲヤツテ居ルノデアツ

人ガ本當ノ交通行政ヲヤツテ居ルノデアツテ、外ノ官廳ト鈞合ヒマス所ノ行政官ト云フモノハ、鐵道省ノ中ニハ實際ハ大臣、次官ヲ除イテハ、此ノ監督局ノ四五百人シカ居ラナイヤウナ次第デアリマス、ソレデ結局交通省ト云フモノデモ出來テ、行政監督ノ統一デモヤラレルヤウニナリマシタナラバ、此ノ監督局ナル交通行政ノ監督機關ガ

ニヤラシタ方が便利デアルト云フ議論ガ非常ニ多カッタデアリマス、併シ私ハ先程申上ゲマシタヤウナ關係カラシテ、地方鐵道局長ニ此ノ監督權ヲ持タセルコトハ宜シクナイ、矢張り監督局デ監督サレルノガ筋ノ通ツコトデアルト云フコトヲ考ヘ、又ソレヲ申上ゲタコトモアルノデアリマス、幸ヒ鐵道省ニハ非常ニ法制ニ通ゼラレタ方モ多イシ、サウ云フ御考ノ方モアツタト見エマシテ、其ノ時ハ監督局ノ監理官ヲ地方鐵道局ノ所在地ニ分屬サレマシテ、サウシテ地方鐵道局長ニハ其ノ權限ヲ與ヘズシテ、其ノ監理官ヲシテ監理サシタヤウニ思ッテ居ルノデアリマス、今回陸運ノ監督權ヲ幾分ナリトモ地方鐵道局長ニヤラセルト云フコトハ、サウ云フ點カラ申シマス、或ハ少シ筋方違ッテ居ハシナイカト私ハ思フノデアリマシテ、矢張り只今ノヤウニ地方鐵道ノ監督、或ハ總テノ監督行政ト云フモノハ、鐵道大臣カラシテ地方長官ヲ通シテ、地方長官ノ權限ニ於テヤラセル方が本筋デハナイカト云フヤウニ思フノデアリマスガ、非常ニ事ハ小サイコトデアッテ、實際上カラ言ヘバ何ノ差支モナイ、却テ宜イコトダト思フノデ……、衆議院ニ於テ、鈴木監督局長ガ説明サレタ所ニ依リマ

スト、監督ト云フモノハ自分ガ國有鐵道ナラ國有鐵道ヲヤツテ居ルモノガ監督スル方が、非常ニ都合ガ好イト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマスケレドモ、私ハ是非常ニ間違ッテ議論デアッテ、サウ云フ論法カラ言ツタナラバ、或ハ製紙會社ナラバ王子製紙ニ監督サスガ宜イシ、電力會社ナラバ東京電燈ニ監督サセルガ宜イト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマシテ、矢張り營業其ノモノト監督スルモノトハ離レテ、全然區別ヲ付ケテ置イタ方が宜イノデヤナイカト云フ風ニ思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、鐵道大臣ハドウ御考ニナッテ居リマスカ

○國務大臣(前田米藏君) 只今御話ノ鐵道省ハ大キナ現業官廳デアリマシテ、監督行政方面ノコトハ極ク一部分デアアル、其ノ通リデアリマスガ、是ノ當否ニ付キマシテハ、別ニ只今申シマセヌデスガ、鐵道局長ニ一部ヲ委任スルト云フヨリハ地方長官ニ委任シタ方が便宜デヤナイカ、便宜ト云フヨリ正シイノデヤナイカト思フト云フコトハ、御尤モノ御意見ト思ヒマスガ、今日デハ地方ニ關スル問題ニ付キマシテ地方長官ニ委任シテ居ルコトハ、將來ト雖モ大體ニ於テサウ云フ積リデ居ルノデアリマスガ、

唯營業運營ニ付キマシテ、全クサウ云フ方面ニ不馴レナ地方長官ヨリハ、地方局長ニ委ス方ガ事務簡捷ノ上カラ申シマシテモ、又實際ノ事實ニ適シタ上カラ申シマシテモ、其ノ方が正シイ……宜イノデハナイカ、適正デナイカト云フ風ナ考方カラ、今度ノヤウナ何ニ致シマシタノデ、行政理論ノ建前カラ言ヒマス、地方鐵道局長ハ現業ノ方ナンドカラ、ソレニ監督ノコトヲヤラセルノハ惡イト云フ御考方ハ、確カニ相當ノ御考方トハ思フノデアリマスガ、併シモット元ニ戻リマシテ鐵道全體ヲ御考ヘ下サイマスト、鐵道大臣ト云フモノハ一方ニ於テ監督スルト共ニ、一方ニ於テハ現業ヲシテ居ル、サウシテ監督局長デアリマシテモ、又現業ノ局長デアリマシテモ、何レモ鐵道大臣ノ附託デアリマス、必ズシモ其ノ行政法上ノ理論デ以テハ、ナカノ説明ガサウ單純デハナイノデハナイカト云フヤウニ思ヒマスノデ、マア今日ノ狀態カラ申シマスト云フト、理論ハ理論デアリマスガ、實際ノ實情ヲ申シマスト云フト、營業運營ニ關スル極ク輕微ナコトハ地方長官ニ委任スルヨリハ鐵道局長ニ委任スル方が、今日ノ社會ノ實勢ニ適シテ居ルヤウナ見地カラ致シマシテ、地方局長ニ委任スルト云フ風ニ致シ

タノデアリマシテ、行政系統ヲ亂スト云フ風ナ、大ソレヲ考方カラ出テ居ル次第ハナイノデアリマス

○男爵久保田敬一君 只今ノ御説明デ能ク分リマシテゴザイマス、サウ云フ程度ニ於テ實際上便宜ノ爲ニオヤリニナルノハ結構ナコトト思ヒマスノデアリマスガ、尙他日交通行政ノ統一ガ出來マシテ、或ハ交通省ト云フヤウナモノガ出來得ベキコトモアルト云フヤウナコトモ御考ニナッテ、ソレニ移行スル時ニ差支ノナイヤウナ御考方ヲ下サイマスヤウニ御願ヒシテ置キマス

○男爵大藏公望君 チョット今ノ久保田男爵ノ質問ニ關聯シテ、委員長ニ御願ガアルノデスガ、先程久保田男爵ノ言ハレタ鐵道ニ軌道ノ問題ハ、鐵道大臣ハ必ズア、云フヤウニ御考ヘナサイマスガ、内務大臣ハ果シテドウ云フ御考ヘカ、長年内務大臣ト鐵道大臣ノ爭ヒト申シテハ恐縮デアリマスガ、懸案デアリマス、殊ニ内務大臣ハ此ノ方面ニ付テハ全クノ素人デアリマスノデ、斯ウ云フ事實ガアルト云フコトヲ申上ゲル必要ガアルト思ヒマスノデ、一遍内務大臣ヲ御呼び願ヒタイ

○委員長(伯耆堀田正恒君) ソレハ次ノ機會デハ……

○男爵大藏公望君 結構デス、ソレデハ次
ノ機會ニ内務大臣ヲ御呼ビ願ヒタイト思ヒ
マス、サウシテ内務大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス、外ノ方ニ御質問ガ御有リニナ
リマスレバ、後ニナツテモ宜シウゴザイマス
ガ、チヨット私大臣ニ質問致シタイノデゴ
ザイマスガ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 大臣ハ今日ハ
御忙シイサウデゴザイマスカラ、今日ハ此
ノ程度ニシタイト思ヒマス、資料ノ御要求
ガゴザイマシタラ此ノ際御申出ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス、今日ハ是デ散會致シマス、明
後日本會議ガアリマシタラ午後一時半カ
ラ、本會議ガナケレバ午前十時カラ始メマ
ス

午後三時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵大藏 公望君
委員

侯爵池田 宣政君
侯爵大炊御門經輝君
子爵野村 益三君
子爵秋元 春朝君
子爵保科 正昭君
男爵福原 俊丸君

男爵久保田敬一君

今井田清徳君

丸山 鶴吉君

澁澤 金藏君

今井 五介君

松本勝太郎君

風間八左衛門君

國務大臣

鐵道大臣 前田 米藏君

政府委員

企畫院總裁 青木 一男君

燃料局長官 小島 新一君

鐵道政務次官 工藤十三雄君

鐵道參與官 青木 亮貫君

鐵道省監督局長 鈴木 清秀君

鐵道省建設局長 堀越 清六君

樺太廳長官 棟居 俊一君

昭和十四年三月九日印刷

昭和十四年三月十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局